

2020年度第1回核兵器廃絶市民講座

「NPT再検討会議へ向けた課題：その現状と問題」

長崎大学核兵器廃絶研究センター

広瀬 訓

1. NPT体制の限界：50年で露呈した課題

- ・ 普遍性と平等性という根源的な問題：異なる義務と条約の限界
- ・ 短期的な目的としての不拡散と長期的な目標としての核軍縮

2. 「持てる国」と「持たざる国」

- ・ 核兵器保有の固定化：核軍縮の停滞→すべての国が「持たない」へ？
- ・ 非核兵器地帯の拡大と消極的安全保障の停滞：核放棄の代償？

3. NPT外の核兵器保有国

- ・ インド、パキスタンの「放置」と米印原子力協定：NPT外の優遇
- ・ イスラエルと中東非大量破壊兵器地帯構想の停滞：NPT無期限延長会議の妥協
- ・ 北朝鮮の脱退と主権：NPT第10条の擁護

4. 「核の傘」の下にある国々

- ・ 核シェアリングをめぐる対立：核兵器国間の亀裂
- ・ 核同盟国は核軍縮を望むのか：日米安保条約と核の傘

5. 国家と人間の安全保障：核抑止と人道アプローチ

- ・ 国家の安全保障としての「核抑止」と人道



国家の安全と国民の安全は本来バランスを考えるものなのか？